

# 良い行いは良いことをつれてくる!

## ストーブ設置など

ほんとうによくやってくれたそうですね!

17日(月)は、私が3時間目の国語の授業の途中で出かけてしまい、給食や清掃など、みなさんだけでやってもらいました。

翌日学校に来て、すぐにみなさんのよくがんばった様子を耳にし、うれしく思いました。それは、次のような会話からです。

M先生が寄ってきて

「新井先生、ストーブの設置にかかわった生徒たちが本当によくやってくれていましたよ! 特に、O君やM君、T君たちは最後までしてくれていました。」

すると、それを聞いていたK先生が

「2組の子たちは本当にいい子たちですね。自主的に物事ができて素晴らしいですよ!」

...

そして「毎日の記録」(生活ノート)を読んでいくと、次々うれしくなったり感心したりすることが書かれていました。・・・ああ、頑張ってくれたんだなあと思いつつ読み、紹介したくなりました。

生活ノートも  
全員が出せて  
すばらしい!!

## 11月18日(火)提出の生活ノートから

- 5時間目に東京校外学習のことなどをしました。そこで、S先生に来て、ストーブをつけました。O君、M君、Y君、N君がやってくれました。真っ黒になりながらがんばってくれたので感謝しています。

(W)

- 5時間目にストーブを入れることになり、O君・M君・Y君・N君と安全委員のT君・K君がストーブを入れるのに協力していました。手や服が黒くなったりして大変そうでした。クラスのためにしてくれてありがたいです。(U)
- ストーブ設置に成功してすごくうれしかったです。煙突をつなぐ時むずかしくて「大人のパズル」と言われました。Yシャツなどが汚れてしまいましたが、困難を乗り越えて完成させた4人という感じでした!(M)
- 今日、3時間目の途中で先生がいなくなった。しかし、Y君がクラスをまとめていた。すごいなと思った。(S)

- ・ 今日東京班で、すごくみんなで協力してできた。すごく楽しくて進んで良かったです。(M)
- ・ 東京の班でしおり作成などをしました。先生がいなかったけれど、しっかりできました。(H)

その後、S先生も

「ストーブ設置はだいぶ苦労したんですけど、よくやってくれてありがたかったです。終わったあとに、やってくれた人に感謝の気持ちで拍手しよう！ということで拍手でお礼しました。」  
と教えてくださいました。

このことからわかるように、人は努力や良い行いで、自分自身が「やって良かった」と思えると同時に、周りの人にも良い

影響を与えます。生活ノートに書かれていなくても、

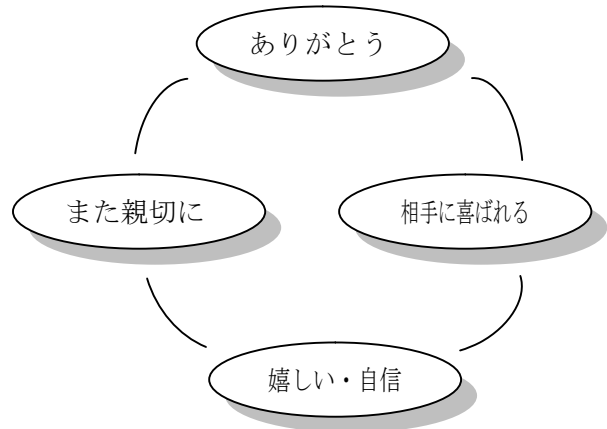
「ありがたいなあ」「えらいなあ」と思っている人はたくさんいるでしょうし、一生懸命やっている姿は美しいものです。学級委員のY君の行いもみんなが評価してくれているし、東京班別の事前の学習もみんなで協力しあいながらちゃんとやるから気分がいいのですね。

右上の図は、人の良い行いが良いものを次々と生み出す仕組みを表しています。人は褒められたくて行動しているわけではありませんが、したことに対して「ありがとう！」の言葉があるとうれしいものです。そこに笑顔が生れるし、また頑張ろうとも思うのではないのでしょうか。1人の良い行いは、1人だけのものではなく良い雰囲気を生み出し、良いことの連鎖も起こっていきます。

この逆を考えてみたらどうでしょう。悪いことや陰日向(かげひなた)のある行動です。公然と悪いことをするのはお話になりませんが、先生や人の見ているところではちゃんとしているように見せて、裏では手を抜いてサボったりずるをしたりする。そこからは、感謝や明るいものでなく、「荒み(すさみ)」が生じます。まず本人の心が荒みます。それを目にしたりかかわった人の心にも嫌なものを残します。

みなさんは褒められることをよくしてくれます。これからも良いものが良いものを連れてくるよう、小さくとも良い行いを続けていきましょう。たとえ、だれも見えていなくても、褒められることがないにしても、良い行いは自分を良い人間に創り上げていってくれるのですから。

### ▼「ありがとう」が生む幸せサイクル



**トイレ掃除もありがとう**  
今の担当班は特によくやってくれています。Y君、R君、S君、Hさん、Nさん、Mさん。